



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 神栄株式会社

コード番号 3004 URL <http://www.shinvei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森崎 歳章

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長

(氏名) 長尾 謙一

TEL 078-392-6901

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,971	5.4	△183	—	△316	—	△191	—
24年3月期第2四半期	22,741	△8.5	284	△24.1	197	△18.1	16	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △408百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △128百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△5.09	—
24年3月期第2四半期	0.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	24,380	—	2,914	—	—	12.0
24年3月期	25,551	—	3,436	—	—	13.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,914百万円 24年3月期 3,436百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	3.00	3.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	5.5	300	△37.9	20	△93.3	20	—	0.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	39,600,000 株	24年3月期	39,600,000 株
25年3月期2Q	1,917,287 株	24年3月期	1,916,753 株
25年3月期2Q	37,682,880 株	24年3月期2Q	37,685,168 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業的前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)	13
(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)	13
(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境や個人消費の改善ペースが緩慢で、景気は緩やかな回復に留まっており、欧州では域内需要が低迷する中で景気後退局面が続き、また中国では国内住宅市場の調整、欧州債務危機を背景とした輸出の減少などによって成長鈍化がより鮮明になってまいりました。

一方、わが国経済は、復興需要が下支えとなっているものの、個人消費や輸出が弱含み、また鉱工業生産が減少してきており、景気減速傾向が見えはじめました。

当社グループにおきましては、昨年4月よりスタートした中期経営計画～FST1000～が2年目に入り、その達成に向けて、急速にグローバル化が進む中、当社グループの今後の事業拡大の方向性を見据え、本年4月より「海外開発本部」を設置して、従来の「繊維・食品・物資・電子」と併せて事業部門を5つの本部で構成し、企画管理本部を含めて、強固で躍動感のある企業グループとするため、チーム力を重視した組織運営をしてまいりました。

当期間における当社グループの売上高は、繊維関連及び電子関連が減少したものの、物資関連が建設機械の大型輸出案件により増加し、全体では前年同期比5.4%増の23,971百万円となりました。

一方、利益面では、繊維関連において販売面で苦戦したことや食品関連において原料コストの上昇による利益率の低下、また、電子関連において市況低迷の影響を受けたことなどにより、全体では営業利益は183百万円の損失（前年同期は284百万円の利益）、経常利益は316百万円の損失（前年同期は197百万円の利益）となり、不動産の売却による固定資産売却益97百万円を特別利益に計上しましたが、四半期純利益は191百万円の損失（前年同期は16百万円の利益）となりました。

なお、セグメント別の業況は以下のとおりであります。

繊維関連

繊維業界は、天候不順や消費の低迷により、一部の衣料専門店や百貨店・量販店は苦戦を強いられ、低調に推移しました。また、中国における人件費は依然上昇傾向であり、生産・仕入面でも厳しい環境にありました。

当社グループのアパレル分野では、OEM事業においては、中堅量販店における販売不振や在庫調整の影響を受け、夏物を中心に取扱いは大きく減少しました。小売事業においては、春先の気温が低かったことによる春物商品販売での苦戦や、サマー・セールの特集の分散による集客力や消費者の購買意欲の低下によって販売が低調であったことに加え、新規出店にかかる費用負担もあって、採算が大幅に悪化しました。

レグウェア分野においても、量販店における販売不振の影響を受け、取扱いは減少しました。

ニット分野では、婦人向けニット生地は受注が弱含みとなり、自動車資材用途も需要が一巡したことにより、取扱いは減少しました。

その結果、繊維関連の売上高は6,405百万円（前年同期比13.5%減）、セグメント利益は161百万円の損失（前年同期は78百万円の利益）となりました。

食品関連

食品業界の輸入食材を取り巻く環境は、中国の工場諸経費・人件費の高騰などのコストアップ要因に加え、国内での価格競争が続いており、厳しい状況でありました。

当社グループの冷凍食品分野では、冷凍野菜につきましては、重点商品の拡販などによる営業活動の強化によって取扱いが伸張しましたが、冷凍調理品につきましては、国内市場に在庫過剰感がある中、原料価格の上昇も影響し、採算面が悪化しました。

水産分野では、加工食品向けの拡販などによる営業活動の強化によって、取扱いは伸張しましたが、原料コスト上昇の影響と厳しい価格競争により、利益率は低下しました。

農産分野では、落花生は主要な生産地の天候不順による収穫減があったものの、ナッツ類とともに取扱いが伸張しました。

生鮮野菜分野につきましては、工場の生産・労務・衛生の管理体制の向上に努め、また、事業を軌道に乗せるべく原料調達機能を強化してまいりましたが、苦戦しました。

その結果、食品関連の売上高は10,943百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は529百万円（前年同期比23.1%減）となりました。

物資関連

建設業界は、復興需要などを背景に持ち直しの機運が広がっている一方で、中国向け建設機械の輸出環境は、成長鈍化の影響もあって、需要は低調に推移しました。

当社グループの建築金物・建築資材分野では、建築金物はほぼ前期並で推移しましたが、輸入板ガラスは国内価格競争激化の影響により、取扱いが減少しました。

電気製品・生活雑貨分野につきましては、消費低迷の影響により、家電量販店向け小物家電製品、生活雑貨ともに、取扱いが伸び悩みました。

機械機器・金属製品分野は、円高の影響を受け、ベアリング等のハードウェア関係の取扱いが減少しました。一方、建設機械分野は、中国向け大型輸出案件の売上計上があり、大幅に伸張しました。

その結果、物資関連の売上高は4,396百万円（前年同期比160.2%増）、セグメント利益は15百万円（前年同期比419.0%増）となりました。

電子関連

電子関連業界では、節電型商品の白物家電、ソーラー発電やLED照明などが注目され、高機能携帯端末とともに堅調に推移しました。しかし、価格競争が激化する薄型テレビなどのデジタル機器は、特需を期待した五輪商戦が不発に終わり、欧州や中国などにおける景気動向の影響もあって、国内外ともに厳しい状況が続きました。

当社グループのコンデンサ分野では、新エネルギー関連で売電事業に新規参入する企業が増え、パワーコンディショナー用途での取扱いは伸びましたが、国内外の家電製品の需要減や、照明用途でのLED化などの影響によって、全体としては取扱いが大きく減少しました。

センサ関連機器分野では、前期は好調であった施設空調用計測機器の需要が一服し、取扱いは低調に推移しました。空気清浄機や除湿機用の環境センサの取扱いは、長引く円高の影響などにより海外向けが低調ながら、国内向けは堅調となり、取扱いが伸長しました。

電子機器の製造受託分野では、採算面から事業撤退を進め、取扱いが大きく減少しました。

その結果、電子関連の売上高は2,225百万円（前年同期比19.9%減）、セグメント利益は85百万円（前年同期比51.5%減）となりました。

海外開発関連

当社グループでは、海外における新規事業及び新規事業拠点の開発を積極的に展開すべく、本年4月より「海外開発本部」を設置して、中国における販路開拓、及び新規事業や新商品の開拓に取り組み、冷凍食品及び厨房機器の販売を開始しました。

その結果、海外開発関連の売上高は、事業開始間もないことからわずかに留まり、セグメント利益は17百万円の損失となりました。

※ セグメント利益は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等配賦前の経常利益の金額に基づいております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は24,380百万円であり、前連結会計年度末に比べて1,171百万円の減少となりました。これは商品及び製品666百万円の減少などにより流動資産が827百万円減少したこと、及び時価の低下による投資有価証券263百万円の減少などにより固定資産が341百万円減少したことによります。

一方、負債は21,466百万円であり、前連結会計年度末に比べて649百万円の減少となりました。これは流動負債のその他に含まれる前受金311百万円の減少などにより流動負債が379百万円減少したこと、及び社債が155百万円、長期借入金62百万円減少し固定負債が270百万円減少したことによります。

また、純資産は2,914百万円であり、前連結会計年度末に比べて522百万円の減少となりました。これは四半期純損失191百万円の計上、及び配当金113百万円の支払により株主資本が304百万円減少したことに加え、その他有価証券評価差額金などのその他の包括利益累計額が217百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から65百万円減少し1,148百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは266百万円の増加となりました。これは、売上債権の増加額363百万円により減少した一方で、たな卸資産の減少額746百万円により増加したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは67百万円の減少となりました。これは、有形固定資産の売却による収入172百万円により増加した一方で、有形固定資産の取得による支出179百万円により減少したことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは271百万円の減少となりました。これは、社債の償還による支出155百万円及び配当金の支払額113百万円により減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月19日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

ただし、今後の株式市場の動向、また世界経済や個人消費の動向などの要因によって、当社グループの業績が大きく変動する可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,214	1,148
受取手形及び売掛金	6,766	7,133
商品及び製品	6,854	6,188
仕掛品	181	146
原材料及び貯蔵品	296	254
その他	1,415	1,028
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	16,718	15,891
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,109	3,062
その他（純額）	1,638	1,541
有形固定資産合計	4,747	4,603
無形固定資産		
のれん	250	196
その他	200	225
無形固定資産合計	450	422
投資その他の資産		
投資有価証券	2,593	2,330
その他	1,080	1,146
貸倒引当金	△56	△28
投資その他の資産合計	3,617	3,448
固定資産合計	8,816	8,474
繰延資産	16	14
資産合計	25,551	24,380
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,879	2,971
短期借入金	8,577	8,666
未払法人税等	41	18
賞与引当金	270	212
その他	2,819	2,340
流動負債合計	14,588	14,209
固定負債		
社債	835	680
長期借入金	5,610	5,548
退職給付引当金	489	471
役員退職慰労引当金	22	24
その他	570	532
固定負債合計	7,526	7,256
負債合計	22,115	21,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,980	1,980
資本剰余金	1,049	1,049
利益剰余金	896	591
自己株式	△398	△398
株主資本合計	3,526	3,222
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176	△0
繰延ヘッジ損益	40	△12
為替換算調整勘定	△306	△294
その他の包括利益累計額合計	△90	△307
純資産合計	3,436	2,914
負債純資産合計	25,551	24,380

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	22,741	23,971
売上原価	17,765	19,490
売上総利益	4,976	4,481
販売費及び一般管理費	4,691	4,664
営業利益又は営業損失(△)	284	△183
営業外収益		
受取配当金	44	43
為替差益	26	15
その他	53	18
営業外収益合計	123	77
営業外費用		
支払利息	148	149
その他	62	60
営業外費用合計	211	210
経常利益又は経常損失(△)	197	△316
特別利益		
固定資産売却益	—	97
投資有価証券売却益	13	—
特別利益合計	13	97
特別損失		
減損損失	—	19
店舗閉鎖損失	—	14
投資有価証券評価損	53	—
特別損失合計	53	34
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	157	△253
法人税、住民税及び事業税	20	14
法人税等調整額	120	△75
法人税等合計	140	△61
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	16	△191
四半期純利益又は四半期純損失(△)	16	△191

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	16	△191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	△177
繰延ヘッジ損益	△69	△52
為替換算調整勘定	6	12
その他の包括利益合計	△145	△217
四半期包括利益	△128	△408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△128	△408
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	157	△253
減価償却費	252	242
固定資産売却損益(△は益)	—	△97
のれん償却額	53	53
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	39	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	△29
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△63	△17
受取利息及び受取配当金	△44	△44
支払利息	148	149
売上債権の増減額(△は増加)	△236	△363
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,016	746
仕入債務の増減額(△は減少)	△731	87
破産更生債権等の増減額(△は増加)	2	37
その他	42	△117
小計	△1,417	395
利息及び配当金の受取額	44	44
利息の支払額	△152	△150
法人税等の支払額	△39	△21
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,565	266
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△259	△179
有形固定資産の売却による収入	9	172
投資有価証券の取得による支出	△50	△0
投資有価証券の売却による収入	67	—
貸付金の回収による収入	3	1
その他	22	△60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,789	146
長期借入れによる収入	1,800	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,676	△1,620
社債の償還による支出	△275	△155
配当金の支払額	—	△113
その他	△27	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,611	△271
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△159	△65
現金及び現金同等物の期首残高	1,401	1,214
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,241	1,148

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	繊維関連	食品関連	物資関連	電子関連	
売上高					
外部顧客への売上高	7,401	10,873	1,689	2,776	22,741
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	—	40	73	115
計	7,403	10,873	1,730	2,850	22,857
セグメント利益	78	688	2	176	945

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	945
セグメント間取引消去	18
全社費用(注)	△766
四半期連結損益計算書の経常利益	197

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	繊維関連	食品関連	物資関連	電子関連	海外開発関連	
売上高						
外部顧客への売上高	6,405	10,943	4,396	2,225	0	23,971
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	79	42	48	174
計	6,409	10,943	4,476	2,267	49	24,145
セグメント利益又は損失 (△)	△161	529	15	85	△17	449

(注) 第1四半期連結会計期間より、海外開発関連の事業を開始したため、報告セグメントを追加しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	449
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△768
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△316

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861	837
受取手形及び売掛金	5,634	5,982
商品	5,939	5,200
その他	2,319	2,287
貸倒引当金	△124	△123
流動資産合計	14,631	14,185
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,167	2,096
その他(純額)	781	696
有形固定資産合計	2,949	2,793
無形固定資産		
	165	194
投資その他の資産		
投資有価証券	2,579	2,315
関係会社株式	5,380	5,328
その他	414	432
貸倒引当金	△44	△17
投資その他の資産合計	8,329	8,058
固定資産合計	11,444	11,045
繰延資産	16	14
資産合計	26,092	25,245
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,953	2,204
短期借入金	8,535	8,627
未払法人税等	13	7
賞与引当金	167	103
その他	4,505	3,864
流動負債合計	15,175	14,806
固定負債		
社債	780	630
長期借入金	5,610	5,473
退職給付引当金	420	404
その他	464	412
固定負債合計	7,275	6,919
負債合計	22,451	21,726

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,980	1,980
資本剰余金	1,049	1,049
利益剰余金	793	901
自己株式	△398	△398
株主資本合計	3,423	3,531
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	177	0
繰延ヘッジ損益	40	△12
評価・換算差額等合計	217	△12
純資産合計	3,641	3,519
負債純資産合計	26,092	25,245

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	17,423	19,013
売上原価	14,758	16,636
売上総利益	2,665	2,377
販売費及び一般管理費	2,506	2,375
営業利益	158	2
営業外収益	370	340
営業外費用	214	220
経常利益	314	121
特別利益	13	97
特別損失	53	52
税引前四半期純利益	274	166
法人税、住民税及び事業税	3	2
法人税等調整額	135	△57
法人税等合計	138	△54
四半期純利益	135	221

(注) 四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものであり法定開示におけるレビューの対象ではありません。